

2023年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科/電気工事コース											
英語 2											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	内田寿彦			実務 経験	有	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
<p>日本工学院専門学校卒業後、総合電気設備工事会社にて一般住宅からビル・マンション・工場の内線工事に従事。職長を経験後、施工管理技士として主に大手建設会社やデベロッパーから受注した現場の施工管理業務を行う。</p> <p>自営である住宅設備会社に転職後は大手都市ガス会社の委託業務の他、屋内電気配線工事や住宅リフォーム・住宅設備機器の販売や管理業務に従事。同時に日本工学院専門学校電子・電気科の非常勤講師を兼任。専任教員として転職後は主に電気工事実習や高圧電気技術などの科目を担当。</p>											
授業概要											
<p>文法の学習を中心に、多種多様な演習問題に取り組むことを通して、四技能(リスニング・スピーキング・ライティング・リーディング)の力を総合的に伸ばします。</p> <p>マナーの5原則(身だしなみ、挨拶、態度、表情、言葉遣い)についてロールプレイングやグループワークを中心に体験的に学ぶ</p> <p>ビジネス能力検定3級合格を目指す</p>											
到達目標											
<p>英語の文法を中心に長文読解などを学習し、大学の一般教養の英語授業と同等の英語力を身に付けることを目標とします。</p> <p>以下、二つを習得する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周りの人と信頼関係を築くためのビジネスマナーを身につける 2. ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指し、社会人として必要な知識と意識を習得する 											
授業方法											
<p>文法の学習を中心に、多種多様な演習問題に取り組むことを通して、四技能(リスニング・スピーキング・ライティング・リーディング)の力を総合的に伸ばします。</p> <p>毎回問題を配布し、別途配布の資料・テキストを使用し分野解説を行う</p> <p>その後、問題演習を実施し、解答後に正解の提示を問題の解説を行う</p>											
成績評価方法											
試験 100% 入試などと同様に試験のみで成績を決定する											
履修上の注意											
<p>授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。途中退出は目的を明らかにし事前に許可を得ること。授業時間内の飲食は禁止とする。担当教員の許可が無い限り、携帯電話やスマホの使用を禁止する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
English Primer <Revised Edition> 大学生の英語入門<改訂新版>											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス・英語1の復習										
第2回	等位接続詞、時を表す接続詞、理由・条件等を表す接続詞										
第3回	不定詞の名詞的用法、不定詞の形容詞的用法と副詞的用法、動詞の目的語となる動名詞										
第4回	能動態と受動態、受動体の否定文と疑問文、注意すべき受動体										
第5回	現在完了<have+過去分詞>、過去完了<had+過去分詞>										

2023年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科/電気工事コース	
英語 2	
第6回	時制の一致を含む 接続詞thatの用法、時制の一致、so～that構文等
第7回	不可疑問文 (be動詞、助動詞)、不可疑問文 (一般動詞)、間接疑問文
第8回	動詞+人+to～の文、疑問詞+to動詞の原型、too…to～などの構文
第9回	天候・距離・明暗などを表すit、時刻、月日、季節などを表すit、形式主語のit
第10回	現在分詞の用法、過去分詞の用法、主語・補語・前置詞の目的語になる動名詞
第11回	主格の関係代名詞、所有格の関係代名詞、目的格の関係代名詞
第12回	仮定法過去 (現在の事実の仮定)、法過去完了 (過去の事実の仮定)、その他の仮定法
第13回	授業の前半部分の復習
第14回	授業の後半部分の復習
第15回	期末試験